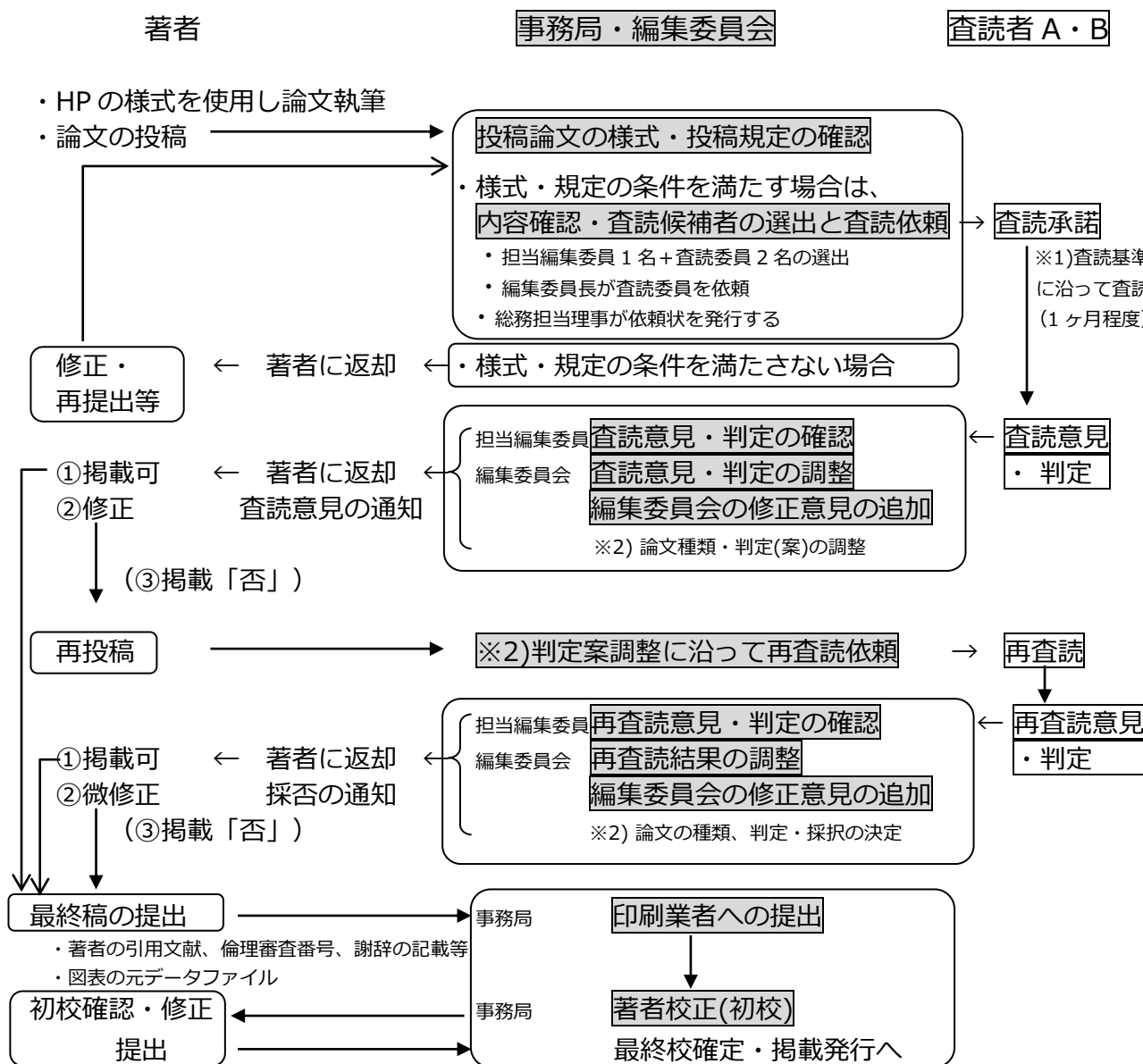


国立病院看護研究学会誌 投稿論文の査読フロー



※1) 査読基準：

1. 査読の視点：
以下の視点を考慮して査読し、必要事項を査読意見として記載する。
1) タイトルは、研究内容を簡潔に明白に表しているか。
2) 研究目的と結論に矛盾がないか。
3) 研究課題に対して研究方法は適切であるか。
4) 結果の記述ができていないか。
5) 考察が適切であるか。
6) 研究方法に倫理的配慮が明記されているか。
7) 文章表現はわかりやすいか。
8) 図表の使い方は適切であるか。

2. 査読判定

1) 掲載の可否
可 A 修正の必要がない (校正レベルの微修正・訂正を含む)
B 修正の必要がある (査読意見に基づいて修正すれば可)
C 修正の必要がある (再査読が必要である)
D その他 (具体的に記載)
否 (理由)

2) 掲載可の場合、論文の種類：
論壇 総説 原著 実践報告 資料 その他 ()

3. 編集委員会への意見

※2) 判定(案)の調整：
2名の査読者の判定が

① (A・A) (A・B) (B・B) の場合
→ 修正後に編集委員会で確認後、掲載可

② (B・C) (C・C) の場合
→ 修正後に再査読
→ 編集委員会で再判定

③ (D) または「否」の場合、
査読意見、論文の内容・修正状況、採否の理由を編集委員会で協議し、論文の種類、掲載可否を決定する。

※担当編集委員は、編集委員会で検討された査読意見・編集委員会の意見を記載し、編集委員長の確認を経て事務局経由で本人に通知する。

※編集委員長は、論文の種類、最終判定(採択・不採択)の理由等のコメントを記載し、事務局経由で本人に通知する。